



問題7

便秘

□□□

解法の要点

解説

下剤の使用について正しいのはどれか。

1. 便秘で下剤を用いても習慣性になることはない。
2. ラクツロースは肝性脳症に用いられる。
3. マグコロールはイレウスに用いられる。
4. 酸化マグネシウムは腸管そのものを刺激して排便を促す。

Ⅲ-12Ai

便秘や下痢の症状を起こす患者は少なくないので、これらの薬剤を使用する頻度も高い。術前や検査前に使用するものなどもあるので、覚えておこう。

- × 1 便秘薬には頻回に下剤を使用すると習慣になってしまうものがある。まずは排便習慣の確立や、運動、食事指導を行いたい。
- 2 文章どおり。ラクツロースはアンモニアの吸収を抑制する作用をもつため、アンモニアが蓄積する**肝性脳症**で用いられる。
- × 3 クエン酸マグネシウム（マグコロール）は内視鏡検査の前処置などで使用される。
- × 4 酸化マグネシウムは緩下剤であり、腸管から吸収されずにとどまり、腸管内の浸透圧を上げることで水分を引き込む。腸管そのものを刺激する刺激性下剤はセンノシド（プルセニド）などが挙げられる。

正解 2